

先端技術セミナー

# ICT/IoT/AI世代の植物工場技術： 実装可能な生体情報計測とモデル化

平成31年 1月30日(水) 13:00~16:10

参加費:1000円

定員  
100名

- 主催:一般社団法人日本施設園芸協会  
愛媛大学植物工場研究センター
- 後援:井関農機株式会社,日本生物環境工学会 生物生体計測部会・施設生産システム部会・四国支部,ai tomato (植物生体情報とAIによる太陽光植物工場における農作物生産の最適化共同研究機関),愛媛大学社会連携推進機構 研究協力会 スマート農業研究部会
- 事務局:愛媛大学植物工場研究センター
- 場所:愛媛大学農学部 2F大会議室 (愛媛県松山市樽味3-5-7)
- 開催趣旨:

センサ・IoT・AI・ロボット等の先端技術の社会実装が進むなか、農業生産においてもこれらの技術が急速に普及しつつある。たとえば、これまで人間の目視による観察と経験に依拠して行われてきた“植物の生育状態の評価”さえも数値化・情報化(見える化)され、これらの数値に基づいた生産系のモデル化を通じて生産システム全体を最適化する戦略が検討されている。本セミナーでは、先端的な植物生体情報計測技術とそこで活用されるAI技術、および、栽培労務管理の最適化に適用されるモデル化技術を紹介し、植物工場における農作物生産のさらなる高度化を検討する。

- 次第  
司会:坂井 義明(愛媛大学大学院農学研究科 植物工場設計工学(井関農機) 寄附講座助教)
- 13:00 開会の挨拶  
羽藤 堅治(愛媛大学大学院農学研究科 教授,植物工場研究センター 副センター長)
- 【先端技術】  
「太陽光誘起クロロフィル蛍光による光合成活性診断」  
加藤 知道(北海道大学農学研究院 准教授)
- 【実用化(フィジカル)技術】  
「施設生産におけるAI活用促進に向けた取組の紹介」  
内藤 裕貴(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構農業技術革新工学研究センター 高度作業支援システム研究領域高度施設型作業ユニット 研究員)
- 「植物生体情報計測におけるAI活用の展望」  
高山 弘太郎(愛媛大学大学院農学研究科・植物工場研究センター 教授,豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター 特任教授)
- 【モデル(バーチャル)化技術】  
「多元的農作物生産データとそのモデル化」  
西原 立(PwCあらた有限責任監査法人 ディレクター)
- 16:10 閉会(閉会後に希望者のみ施設見学)



愛媛大学農学部 2F大会議室  
(愛媛県松山市樽味3-5-7)

駐車可能数はわずかですので公共交通機関をお使い下さい。

- 【松山市駅から】  
◆伊予鉄バス 8番線「愛大農学部前」下車

## 参加申込・お問合せ先

- ◆参加申込 HP:<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo1/mpmailec/form.cgi>
- ◆問い合わせ:高橋(事務担当 問宮)(愛媛大学農学部・植物工場研究センター) E-mail:[zinzai@agr.ehime-u.ac.jp](mailto:zinzai@agr.ehime-u.ac.jp)